

都市計画公園十三号地公園特許事業有識者検討委員会（概要）

1. 検討委員

下村 彰 男 國學院大學観光まちづくり学部 教授（座長）
押田 佳子 日本大学理工学部 准教授
千葉 千枝子 淑徳大学経営学部 教授

2. 委員会開催結果

1) 第1回 令和6年8月29日（木）

（議事要旨）

■整備方針について

「4 整備の基本的方向」において追記すべき事項

- 賑わいを創出するだけでなく、交流を促すということ
- 海に面する場所における海辺の魅力を活かすような整備をすること
- 臨海部の公園であることから内陸部の公園と同様な公園整備を避け、海辺という立地環境を活かした整備をすること
- 東京国際クルーズターミナルに近接する公園であることから、公園だけでなく客船利用者の移動にも配慮した大型バス等のための施設を整備すること
- 当該公園は品川区の端に位置することから、整備内容の検討にあたっては品川区だけではなく、隣接自治体の上位計画も踏まえること
- まち側からの景観だけでなく、海側からの景観にも配慮して整備すること

2) 第2回 令和6年10月9日（水）

（議事要旨）

■整備方針について

「4 整備の基本的方向」について

- パブリックコメントを踏まえて、災害時の機能発揮については、防災に関する上位計画名などを記載して修正すること
- 「大型バス等による円滑な移動への貢献」の一文を削除すべきという意見について、当該公園の立地上、クルーズ客船利用者の円滑な移動への貢献は課題の一つであるが、意見内容についても理解できる。民間事業者との調整の中で、安全をはじめとする良好な利用環境の確保については十分に指導すること